



学校だより

*令和6年度始動です！

校長 中村 嘉男

今年度は、7年生：152名（5クラス）、8年生：145名（4クラス）、9年生：166名（5クラス）、7組：37名（5クラス）の計500名でスタートです。昨日は7組の新7年生も加え166名全員出席で入学式も無事行われました。生徒会長、新9年の黒田野衣さんからあたたかい歓迎のことばと様々なことに挑戦しよう！と励ましの言葉がありました。だれにも居場所のある志村四中にしていきましょう！！

8年生、9年生の皆さん進級おめでとうございます。いよいよ本日から令和6年度、1学期のスタートです！春休みは進級のための気持ちの整理という意味でゆったりとした時間をつくられたでしょうか？見回してみると・・・決意を新たに始業式に臨んでいることが表情からも伝わってきます。

うーん、ちょっとつむぎかげんの人もいますね。今年度は明日入学してくる新7年生を入れるとちょうど500人でスタートです。500人でどんな学校生活が送れるか、今から楽しみにしています。皆さんとしては新しい学年の生活を、まだ漠然としていると思いますが楽しみと感じているのでしょうか。これまでの経験から考えれば、楽しいことばかりではなく悩んだり乗り越えるために苦勞したりすることも予想できると思います。

9年生は、義務教育の最終学年として、本校の最上級生として立派に行動してほしい・・・そんな風と言われることが増えてくると思います。しかし、将来の生き方にかかわる進路の決定という大きな目標も達成しなくてはなりません。多くの9年生が人生で初めて自分自身で進学先を決めて自分で歩み始める大事な年です。本当にこの進路でいいのか、自分は合格できるのだろうか、重圧に日々耐えていくことになると思います。大丈夫かなと不安になるのは当然です。しかし、皆さんが中学校に通っているのは、授業を受けて学力を向上させるだけでなく受験という同じ境遇を背負った仲間といっしょに戦うことができるという場所を得るためでもあります。互いに刺激を受けたり助け合ったりしながらそれぞれの目標を達成してほしいと思います。一人きりでは難しいことでも多くの仲間が創り出す雰囲気や流れは皆さんを後押ししてくれるはずです。

8年生は、中学校生活2年目、中堅学年として9年生を支え良き志四中の伝統を引き継いでほしいと思います。なんとなく生活しているとあとでこの1年間は何をした1年間だったのかと漠然とした焦りを感じてしまうことになりかねません。思う存分自分を磨き、充実させる時です。勉強でも学校行事でも生徒会活動でも部活動でも中心となって自分磨きを続けてください。これだけは頑張ったというものがある人は、次の試練に挑むとき、それまでの自分を振り返りながらつけてきた「自信」が皆さんを後押ししてくれます。

8年生、9年生がそれぞれ自分たちのすべきことに打ち込み日々学校生活を送ることでその背中を見ながら新7年生も進むべき方向を見失うことなく中学校生活を安心して送ることができます。

先生方も皆さんの支援を精一杯していきますので、良い1年間にいきましょう。

(始業式より抜粋)